

## 第645回建設技術講習会 現場研修事業の概要

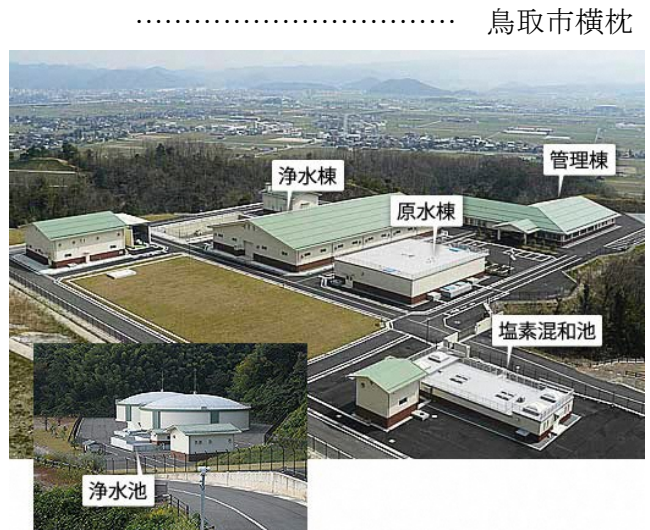
### 1. 国指定重要文化財 <sup>みたに</sup> 旧美歎水源地水道施設

- 全国29番目の近代水道として大正4年に竣工した水源地兼浄水場で、大正から昭和にかけて鳥取市民の水がめの役割を果たした。
- 昭和4年に5号濾過池を増設するなどの改修を経て、昭和53年に休止するまで現役の施設として使用。
- 昭和60年に近代水道百選に選定。すでに廃止された施設ながら歴史的価値が高く評価される。
- 地方水道の典型を示す全体構成がほぼそのまま残存しており、その歴史的価値が認められ平成19年に国の重要文化財に指定。
- 平成23年から平成30年にかけて国及び県の補助を受け、文化財保存修理事業と活用整備事業を実施し、平成30年4月より一般公開を開始。



### 2. 江山浄水場 <sup>こうざん</sup>

- 江山浄水場は、鳥取市の配水量の約8割を賄う浄水場（計画1日最大浄水量80,000m<sup>3</sup>）。平成22年全面供用開始。
- 良好な水質と安定した水量に恵まれた一級河川千代川の伏流水を取水していたが、原水からクリプトスポリジウム等指標菌である大腸菌が検出されたことから、平成11年に建設を計画。
- この施設の特徴は、原水をろ過する浄水系膜ろ過施設と、浄水系の膜を物理洗浄した洗浄水をろ過する回収系ろ過施設の2段階の全量ろ過方式で、回収率は99.7%となる。
- 原水の水質は良好であるため、前処理は実施していない。



### 3. 山陰道 鳥取西道路（Ⅲ期） 重山トンネル工事

- 鳥取西道路（Ⅲ期）は、鳥取市気高町下坂本と鳥取市青谷町青谷を結ぶ延長6.4kmの自動車専用道路で、事業目的は、緊急時の代替路線の確保、現道の渋滞の解消、観光・医療・物流活動の支援、広域交流の促進及び地域活性化を図ること。
- 鳥取西道路では、各工区においてICT土工を活用。
- 鳥取西道路（Ⅲ期）区間の内、浜村鹿野温泉IC～青谷IC間については、平成29年12月に開通予定としていたが、重山地区で道路脇の斜面を安定させるために打ち込んでいたアンカー4本が破損。
- 地すべりの恐れがあるため水抜きボーリング工事、押さえ盛り土工事などの応急対策工事を実施したが、法面が安定化せず、広範囲に調査した結果、当初の想定よりも広い範囲での法面変位が判明。
- 現場を埋め戻して新たにトンネルを掘ることを決定。

